

2026 年 9 月 17 日
東京ミッドタウンマネジメント株式会社
三井不動産株式会社

報道関係各位



映画監督や原作者が登場！ 日比谷のシネマフェスティバル 全14回 | 入場無料

「HIBIYA CINEMA FESTIVAL 2026」トークプログラム発表！

10月8日（木）オープニングイベントには前田敦子さんが登場！

10月9日（金）は、東宝映画『汝、星のごとく』公開記念スペシャルトークセッション！



東京ミッドタウン日比谷（千代田区有楽町 事業者：三井不動産株式会社）は、2026年10月9日（金）から10月25日（日）まで開催する「HIBIYA CINEMA FESTIVAL 2026」のトークプログラムを発表します。

メイン会場となる東京ミッドタウン日比谷 日比谷ステップ広場では、パブリックスペースでの映画上映とともに、国内外の映画賞・映画祭と連携し、映画監督や原作者を招いた全14回のトークプログラムを実施。映画パーソナリティの伊藤さとりさんをナビゲーターに、作品への想いや制作秘話を語っていただくことで、より深く映画の世界を体感いただけます。

日比谷シネマフェスティバル トークプログラム 注目ポイント

- 10月8日（木）オープニングイベントに、「女性記者映画賞」アンバサダーの俳優・前田敦子さんが登場！
- 10月9日（金）は映画『汝、星のごとく』公開記念！藤井道人監督×原作者・風良ゆうさんのスペシャルトークセッション
- 女性記者映画賞・トロント日本映画祭と連携！阪本順治監督、原作者・東村アキコさんら映画関係者が連日登場！

※詳細は、「HIBIYA CINEMA FESTIVAL 2026」オフィシャルサイトをご確認ください。

<https://www.hibiya.tokyo-midtown.com/jp/event/7556/>

▶オープニングイベント 前田敦子さんと伊藤さとりさんのプレミアムトークショー

会期前日10月8日（木）は、オープニングイベントとして、アンバサダーを務める俳優・前田敦子さんと、「女性記者映画賞」発起人で映画パーソナリティの伊藤さとりさんによるトークショーを開催。トークショーのあとには、前田敦子さん主演作品『一月の声に歓びを刻め』を上映します。トークと映画をあわせて楽しめる、特別な一夜をお届けします。



俳優 前田敦子さん



映画パーソナリティ・映画評論家
伊藤さとりさん

【オープニングイベント 概要】

- ▶日時：10月8日（木）17:00～（予定）
- ▶トークショー：17:00～17:30（予定）
- ▶登壇者：俳優 前田敦子さん、伊藤さとりさん
- ▶作品上映：17:30～ 『一月の声に歓びを刻め』

※トークショー終了後の上映となります

- ▶場所：東京ミッドタウン日比谷 日比谷ステップ広場
※雨天、荒天の場合は東京ミッドタウン日比谷 カンファレンスにて開催（予定）
- ▶入場：無料

<登壇者プロフィール>

- ・前田敦子さん 1991年7月10日生まれ、千葉県出身。俳優として映画、ドラマ、舞台を中心に幅広く活動。近年の主な出演作に、映画『一月の声に歓びを刻め』『恋に至る病』、ドラマ『季節のない街』『ファーストクライ 母子救命救急班』など。
- ・伊藤さとりさん 映画評論家&映画パーソナリティ。年500本を鑑賞し、TBSテレビ「ひるおび」での映画解説、「びあ」等への映画評寄稿、映画舞台挨拶のMCなど幅広く活動。女性監督に光を当てる「女性記者映画賞」を設立。

▶『汝、星のごとく』公開記念！監督と原作者のスペシャルトークセッション！

10月9日（金）は、映画『汝、星のごとく』の公開初日特別企画として、藤井道人監督と原作者の風良ゆうさんによるスペシャルトークセッションを開催します。当日は、藤井監督の作品『青春18×2 君へと続く道』を上映し、トークセッションを実施。藤井監督の映画づくりや、原作から映画へと受け継がれた物語の魅力や映画化に込めた想い、制作の舞台裏など、お二人ならではの視点から作品について語っていただきます。



藤井道人監督



風良ゆうさん

©2026「汝、星のごとく」製作委員会 ©風良ゆう／講談社

【スペシャルトークセッション 概要】

- ▶日時：10月9日（金）17:30～
 - ▶作品上映：17:30～『青春18×2 君へと続く道』
 - ▶トークセッション：19:45～（予定）
 - ▶登壇者：藤井道人監督、作家 風良ゆうさん（原作者）
 - ▶ナビゲーター：伊藤さとりさん（映画パーソナリティ）
 - ▶場所：東京ミッドタウン日比谷 日比谷ステップ広場
- ※雨天、荒天の場合は東京ミッドタウン日比谷 カンファレンスにて開催（予定）

▶女性記者映画賞と連携したトークプログラム

10月10日（土）～12日（月・祝）の3日間は、「女性記者映画賞」との連携プログラムを実施。受賞・ノミネート作品『佐藤さんと佐藤さん』『徒花-ADABANA-』『マダム・イン・ニューヨーク』を上映し、上映前に監督・ゲストによるトークセッションを開催します。ナビゲーターは同賞発起人の映画パーソナリティ 伊藤さとりさん。



写真左：『佐藤さんと佐藤さん』天野千尋監督／右：『徒花-ADABANA-』甲斐さやか監督

▶トロント日本映画祭 in 日比谷トークプログラム

10月17日（土）～24日（土）の期間は、「トロント日本映画祭in日比谷」を開催。同映画祭で上映された話題の日本映画8作品を英語字幕付きで上映し、各回の上映前には、作品を手がけた監督や原作者によるトークセッションを開催します。



上段左から：『てっぺんの向こうにあなたがいる』阪本順治監督／『ハウセンカ』木下麦監督／『かくかくしかじか』東村アキコさん（原作者）／『敵』吉田大八監督



下段左から：『木挽町のあだ討ち』源孝志監督／『片思い世界』土井裕泰監督／『風のマジム』芳賀薫監督／『ふつうの子ども』呉美保監督／トロント日本映画祭

▶東京味わいフェスタ 2026 連携トークプログラム（キノ・イグルー）

「東京味わいフェスタ 2026」の開催に合わせ、「食」をテーマにした特別上映を実施します。全国各地で移動型映画館を開催する「キノ・イグルー」の有坂壘さん監修のもと、『土を喰らう十二ヵ月』を上映。上映前後に有坂さんによる作品解説があり、映画の世界をより深く味わっていただけます。毎日の食事がかけがえのないものになる、日比谷ならではのプログラムです。

【東京味わいフェスタ2026 連携トークプログラム 概要】

- ▶日時：10月24日（土）15:00～
- ▶トーク：15:00～／17:10～（予定）※トークは上映前後におこないます
- ▶登壇者：キノ・イグルー 有坂壘さん
- ▶作品上映：15:10～『土を喰らう十二ヵ月』
- ▶場所：東京ミッドタウン日比谷 日比谷ステップ広場



©2022『土を喰らう十二ヵ月』製作委員会

<HIBIYA CINEMA FESTIVAL 2026 トークプログラム 全 14 回 一覧>

プログラム	日程	上映作品	登壇者
オープニングイベント	10/8 (木)	『一月の声に歓びを刻め』	前田敦子さん (俳優)、伊藤さとりさん※
『汝、星のごとく』公開記念	10/9 (金)	『青春 18×2 君へと続く道』	藤井道人監督、風見ゆうさん (作家)
女性記者映画賞	10/10 (土)	『佐藤さんと佐藤さん』	天野千尋監督
	10/11 (日)	『徒花-ADABANA-』	甲斐さやか監督
	10/12 (月・祝)	『マダム・イン・ニューヨーク』	新谷里映さん (映画ライター) 佐藤美鈴さん (朝日新聞映画記者)
トロント日本映画祭 in 日比谷	10/17 (土)	『てっぺんの向こうにあなたがいる』	阪本順治監督
	10/18 (日)	『ホウセンカ』	木下麦監督
	10/19 (月)	『かくかくしかじか』	東村アキコさん (漫画家)
	10/20 (火)	『敵』	吉田大八監督
	10/21 (水)	『木挽町のあだ討ち』	源孝志監督
	10/22 (木)	『片思い世界』	土井裕泰監督
	10/23 (金)	『風のマジム』	芳賀薫監督
	10/24 (土)	『ふつうの子ども』	呉美保監督
東京味わいフェスタ 2026	10/24 (土)	『土を喰らう十二月』	キノ・イグルー 有坂壘さん

※トークプログラムのナビゲーター：映画パーソナリティ 伊藤さとりさん (「東京味わいフェスタ 2026」連携トークプログラムを除く)

※詳細は、HIBIYA CINEMA FESTIVAL 2026 特設サイトにて順次公開予定

「女性記者映画賞」映画ライター・コラムニストの渥美志保さんと映画パーソナリティの伊藤さとりさんが発起人となり、グループ・映キャン！が設立した映画賞。審査員全員が女性で、「女性をエンパワーメントする作品」を基準に選出しています。
「トロント日本映画祭 (TJFF)」カナダ日系文化会館 (JCCC) が主催する映画祭。日本で高い評価を得た話題作を上映し、多くが北米プレミアとして紹介されています。

「HIBIYA CINEMA FESTIVAL 2026」概要

【日時】2026年10月9日 (金)～10月25日 (日) ※荒天中止

【入場】無料 入退場自由

【場所】東京ミッドタウン日比谷 日比谷ステップ広場、日比谷公園、日比谷OKUROJI

【主催】東京ミッドタウン日比谷／一般社団法人日比谷エリアマネジメント

【特別協力】第39回東京国際映画祭

【後援】在日カナダ商工会議所

【協賛】PERONI、KANEBO、映画『DIGGER／ディガー』、ミュージカル『101ダルメシアンズ』、
サンフロンティア不動産株式会社、日比谷OKUROJI、東宝株式会社、TOHOシネマズ株式会社、
AIR CANADA／エア・カナダ

【協力】カナダ日系文化会館 (JCCC)、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア、
女性記者映画賞 Supported by 映キャン！、帝国ホテル 東京、東京味わいフェスタ2026、
公益財団法人東京都公園協会 (都立日比谷公園指定管理者)、トロント日本映画祭、
映画『汝、星のごとく』、MomoFilms (予定、五十音順)

【連携】ARTE (東京国際文化芸術祭) パートナープログラム



【URL】<https://www.hibiya.tokyo-midtown.com/jp/event/7556/>

【特設サイト】<https://www.hibiya.tokyo-midtown.com/hibiya-cinema-festival/> ※特設サイトは9月下旬公開予定



東京ミッドタウン日比谷について



東京ミッドタウン日比谷は、オフィス、ショップ、レストラン、映画館などの施設が集まった複合施設です。映画・演劇の街として知られる日比谷エリアの上質な文化や、日比谷公園が隣接する自然豊かな環境を活かし、未来志向の新たな体験や、お客様の感性を刺激する新たな価値の提供を目指しています。
<https://www.hibiya.tokyo-midtown.com/jp/about>

三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】 ・「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsui-fudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/
・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsui-fudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>

また、2025年4月に、街づくりにおける環境との共生宣言「&EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の5つを定めています。本リリースの取り組みは、「&EARTH for Nature」における重点課題の1つに貢献しています。



【本イベントに関する掲載・お問い合わせ先】

東京ミッドタウン日比谷 PR 事務局（株式会社 プラップジャパン 内）

Mail : pr.midtown-hibiya@prap.co.jp

担当：青木（070-2161-7011）、市村（070-7561-6977）、戸枝（080-6261-7517）